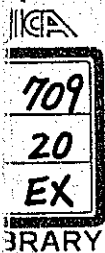


各国事情のしおり

— ペル — 編 —

1972・3

海外技術協力事業団



国際協力事業団

受入 月日	87. 4. 22	709
登録 No.	08491	20
		EX

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として、ペルー国に派遣されている水産専門家・町井紀之氏からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが本小冊子が同国に赴任する専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和47年3月

海外技術協力事業団

理事長 田付景一

JICA LIBRARY



1034786[2]

目 次

I 任国事情	2
1. 住宅（住宅事情，家賃，ホテル，什器・備品）	2
2. 食品（食料事情，価格，外食，その他）	4
3. 衣類，日用品	6
4. 使用人	7
5. 医療（医療事情，医薬品，疾病の種類，健康管理上の注意）	8
6. 子弟の教育機関（教育制度，教育機関，授業料，通学方法）	9
7. 娯楽設備（保養地等，余暇，日本人クラブ等）	10
8. 電 力	11
9. 交通（交通事情，タクシー等，レンタカー，自動車購入，運転免許，ガソリン代）	11
10. 為替（相場，対日送金，滞在費等の受取方法）	14
11. 出入国管理（税関検査，外人登録，ビザ手続）	14
12. 便宜供与（種類，カウンターパート等，免税特権）	16
13. 通信，運輸（郵便事情，運送）	17
14. 言語（公用語，英語等の普及度，語学学習）	18
15. 気 候	19
16. 治安（一般情勢，夜間外出，緊急時連絡方法）	19
17. その他（対日感情，新聞・雑誌等，風俗・習慣，理髪・美容，クリーニング，買物，今後赴任する専門家に望むこと）	20
II 同国に対する我国の技術協力実績	23
III 大使館等連絡先	25

ペルー 国略図



✧ 面積	1 2 9 万 km ²
✧ 人口	1, 3 5 9 万人 (1 9 7 0 年)
✧ 首都	リマ
✧ 通貨単位	ソール = 8.2 8 円
✧ 宗教	カトリック
✧ 教育	5 年制 (義務教育)
✧ 公用語	スペイン語
✧ 住民	インディオ, 混血, 白人

各種の鉱物および水資源に恵まれ、輸出品目も多岐にわたっているためか、かなりの経済成長をみているが、自然条件に左右され易い農業と水産業の状況によって絶えず変動をくり返してきた。

国際収支は資本財を中心とする輸入の激増と輸出の不振で悪化している。

I 任国事情

1. 住 宅

(イ) 住宅事情

① エージェントの有無

有り。

英語の大体通じるものは2, 3軒にすぎない。

② 入手の難易度

日本よりは容易である。

300ドル以上の高級なものは入手し易いが、中級程度のものはむしろ難しい。

下級のものは盗難, 治安, 社会環境からみて避けるべきで日本の専門家としての体面上からみてもよくない。

③ 賃借方法

契約期間は最低1カ年。

家賃は月払で前払制である。

入居当初2~3カ月分の保障金が必要となる。

(ロ) 家 賃

専門家が居住する家屋の平均的家賃(家族4人程度)

	家具なし	家具付
アパート	4,500~7,000 ^{ソールス}	8,000~12,000 ^{ソールス}
借 家	約 12,000 "	13,000~20,000 "

(ハ) ホ テ ル

① 短期滞在のホテル

ホテルウェルソン(日本語が通じる) { 上 10ドル/日
 中 7ドル/日
 日, 秘文化会館 5ドル/日
 ペンション“ヤマモト”(和歌山県人1世経営)
 5~5.5ドル/日
 その他のペンション(英語がわかるもの) 10ドル/日
 ペンションの場合は食費込みであるが, その他は食費としてこの他に4ドル程度必要となる。

② 長期滞在のホテル

ホテルポリバル, ホテルクリオン, ホテルリビエラなどがあるが, 料金が高いので(ルームチャージ15ドル以上)長期滞在には不向きである。

(二) 什器・備品

① 携行を必要とする食器類

家族同伴の場合には洋食器類は当地では高価であるため, 一通り(ダース単位)日本から持参されることをすすめる。和食器, 調理具類は当地では入手困難であるので必要なものは持参すること。

② 入居当初必要とする経費

家具付の部屋を借りた場合

最低毛布, シーツ, 枕等で3,000ソーレス以上。

家具無しの部屋を借りた場合

電気機具および工事費, 冷蔵庫, ガスレンジ, 食卓, ベッド, カーテンに至るまですべて準備することになり最

低 24,000 ソーレス以上必要となる。

2. 食 品

(イ) 食料事情

① 一般的食料事情

果物，野菜類は豊富である。

ときとして米，砂糖，塩，牛肉，食用油，ジャガイモ，玉ねぎ等が不足することがある。

魚は一般に高い。

② 日本食品の入手状況

味噌，醤油は当地産のものがある。

日本からの輸入品は現在全面的に輸入禁止となっているため在庫が少なくべらぼうに高い。

③ 水，燃料等

ほぼ不安はない。

ときたまプロパンガスが不足することがある。

④ 日本食レストランの有無

4軒程ある。

(ロ) 価 格

1 ソーレス = 8.28 円

品 名	数 量	金 額
米	キ ロ	15.50 ソーレス
食パン	1 斤	7 "
肉 牛 (上)	キ ロ	100 ~ 147 "

品名	数量	金額
肉牛 (中)	キ ロ	80 ソーレス
(下)	"	60 "
鶏 (若ドリ)	1 羽	60~90 "
(親ドリ)	"	80~110 "
魚 (高級鮮魚)	キ ロ	100~150 "
(中 ")	"	50 "
(大衆魚)	"	15 "
砂糖	"	6 "
醬油 (現地産)	600CC	30 "
味噌 (")	キ ロ	25~30 "
油	1 ℓ	18~130 "
茶 (日本産番茶)	100グラム	65 "
紅茶 (ティーパック)	1 個	1 "
コーヒー	キ ロ	52 "
タバコ	20本入	18~24 "
ビール	1 本	13~15 "
ぶどう酒 (國産)	"	27~50 "
" (チリー産)	"	100 "
ウィスキー (スコッチ)	"	180 "
" (ジョニ赤)	"	390 "
" (ホワイトホース)	"	" "

外食

日本食堂	1食(定食)	90	ソース	
ペルー食堂	{	軽食(昼)	30~40	#
		洋食(夜)	100	#
		“(朝)	35	#

上記金額に15%の税金、サービス料が加算される。

(三) その他

日本茶、椎茸、ノリ、かつを節、梅干、粉わさび、かんぴょう、だしの素、七味とうがらし、さんしょう粉などの日本食品はできるだけ持参することをすすめる。

3. 衣類、日用品

(1) 衣料事情

① 一般的衣料事情

特に不足の品はないが、一般に価格は高く粗雑品が多い。下着類は日本人に合わない。Yシャツは必要量だけ携行した方がよい。

② 必要とする衣類

日本の酷暑、厳寒に着用する衣類を除いたものは一通り必要と思われる。冬の下着も必要である。公式用には男、女共黒の合スーツ、女性はこの他訪問着を携行するとよい。不足の品

男性 ステテコ、ズボン下、下着(長袖)、靴下、
Yシャツ(長袖)、ネクタイ
女性 スリーマ

子供 おむつカバー

③ 携行すべきもの

別送便到着まで間に合うよう赴任時に季節に応じた身廻品を約3カ月分くらい持参した方がよい。

なお季節は日本と逆である。

(ロ) 日用品

電気器具

非常に高い物(日本の5～6倍)

テレビ(12インチ)12,000ソールス, テープレコーダー, ラジオ, 掃除器, カメラ, 計算機

中程度(日本の3～5倍)

洗濯機, ミキサー, 炊飯機, アイロン, まほうびん

普通(日本の1.5～3倍)

冷蔵庫, 電気ストーブ, ミシン

4. 使用人

① 職業紹介所

有る。

② 具体的雇用方法

個人的紹介か新聞募集などによっている。

③ 給与月額

食事, 寝具, 衣類等現物支給。

お手伝(女) 700～1,500ソールス

④ 雇用, 解雇に際し特に注意すべき事項

健康保険 家庭使用人に対する保険制度について政府が検討中。

休 暇 普通週1回

昇 給 半年または1年毎。

独立祭、クリスマスには適当なボーナスを支給する。

⑤ 最低必要とする使用人

家族構成にもよるが、お手伝1人は必要。特に乳幼児のいる場合は必要である。

独立家屋を借りた場合は庭師が必要になる。(500ソールス/月)

⑥ その他

盗癖に対する道德感が一般にうすいので注意すること。

解雇に当っては日系一世または商社員等に相談される方がよい。

5. 医 療

(1) 医療事情

① 医療施設

政府職員、軍人等に対する医療施設は完備されているが、これは専門家等は使用できない。特別な精密検査および手術(特に救急手術)に対しては不安である。

当国は完全に医薬分業になっている。

② 日本人医師の有無

二世の医師が活躍中であるが、日本語はそれほど通じない。

③ 出産についての安全性

特別な手術を除いては不安はないようである。

(ロ) 医薬品(携行すべき)

救急医薬品および持薬程度は一通り持参された方がよい。

(ハ) 疾病の種類

① 風土病的なもの

破傷風

他に傷口を通して侵入する虫がいるので要心すること。

② その他

日本出発前に菌の悪い人は完全に治療しておかれることを
すゝめる。

(ニ) 健康管理上の注意事項

冬期は低温多湿で日光不足になる。

生水、生物には充分注意すること。

6. 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要

幼稚園 2 年

小学校 5 年

中学校 //

普通
{ 実業(商,工,農,師範)

高等学校 //

公立、私立があり、国際的な学校はない。

なお上流社会の子女は私立のアメリカ系、ドイツ系、フランス系の学校に入学しているようである。

(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

主として商社員子弟を対象にした日本語講習会と称する日本人学校があり、外務省から派遣された先生4名が日本文部省基準による教科書で小、中学校に教えている。

現地日系人に対しては別に日系人学校がある。

(イ) 授業料

日本語講習会 800 ソーレス/月

(ニ) 通学方法

スクールバス 300 ソーレス/月

7. 娯楽設備

(イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

主要都市に保養地がある。

ゴルフ場数カ所、ボーリング場1カ所、映画館は多数ある。

ゴルフクラブに入会するには専門家の場合は、費用の点で無理のようである。

(ロ) 通常の余暇の過ごし方

ゴルフ、ドライブ(特に冬期の日光浴のため)、ボーリング、映画、釣等である。

(ハ) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無

日系人クラブとして太平洋クラブ(少壮実業家団体)がある。

スポーツクラブはウニオニクラブがあり、何れも会員制になっている。

ウニオニクラブは会員登録料、維持費が必要で、主として日系二世が利用している。

その他当国には日・秘文化会館があり、日系人の文化活動の中心になっている。

主な県人会としては沖縄、熊本、福岡、福島、大島、山形等がある。

ペルー全体のものとしてボスケクラブがある。

8. 電 力

220V, 60 cycle

トランスは高価であるが当地で入手可能。

9. 交 通

(1) 交通事情

① 一般交通機関

鉄道は中央、南部山岳のみで、一般にリマから各地へはバス、乗合タクシーの便がある。

リマ市内はバス、乗合タクシーとも比較的不自由はしないが、一步郊外にでると極めて不便である。専門家の場合は非自家用車が必要で、これがないと公、私にわたって非常に不便である。

料金 市内バス 3ソールレス(均一)

コレクディボ 2.5～3.5ソーレス(市内)

乗合タクシー 3～4 // (//)

② 道路事情

リマ市内は比較的よく舗装されている。

③ 特に注意すべき交通法規

車両は右側通行である。

リマ市内では駐車，一方交通標示，Uターン禁止等の標識に注意すること。

④ 交通事故の取扱い

非常に面倒である。普通弁護士を通じて示談に持込むようである。

警察ざたになると貴重な時間が浪費されるだけでなく，正当な結果も得られず余り頼りにならないので，各自交通事故には充分注意すること。

⑤ 事故補償

保険制度があり，保険料100,000ソーレスの場合，頭金1,253.40ソーレスを納め，残りは10回払いで毎月501.36ソーレスの支払になる。

(ロ) タクシー，ハイヤーの利用，料金

ハイヤーもあるが，タクシーが比較的発達しているのでこれを利用することが多い。

大体リマ市内だと距離にもよるが20～30ソーレス位である。メーターのないタクシーの場合，乗る前に料金交渉をする必要がある。

(ハ) レンタカー

有る。

(ニ) 自動車購入

① 購入方法，融資方法

東銀ニウヨーク信託会社の融資を受け，現地商社を通じて購入するか，あるいは中古車，新車を現地購入する。

② 免税輸入特権

滞在2年以上の場合は免税輸入が可能である。

③ 帰国時の売却方法，課税

現地にて現地貨で売却する。

課税額は車にもよるが500ソールくらいである。専門家の場合でも課税免除はされない。

(ホ) 運転免許

① 国際免許の有効性

1カ年有効である。

それ以後は現地免許に切替える。

② 免許取得の方法，経費等

国際免許所持者の場合，医師の健康診断書だけで現地免許に切替えてくれる。

費用は約500ソールくらい。

当地で新規に免許を取得するためには，スペイン語ができないと可能性はまったくないので，免許のないものは日本出発前に是非とも取得しておくことをすすめる。

(ヘ) ガソリン代

ハイオクタン	15	ソーレス／ガロン
普通	10	〃 / 〃

10. 為 替

(イ) 相 場

公 定 1米ドル = 38.36ソーレス

実 勢 " = 43.38 "

(ロ) 対日送金

現在ドルを国内で買うことができないので、対日送金は不可能である。

2年以上滞在する専門家の場合は、日本で自由円口座開設が望ましい。

(ハ) 滞在費等の受取方法

2年以上の専門家 — 東銀八重洲通支店の自由円口座から東銀リマ支店へ振込んでもらう。

2年未満の専門家 — 東銀信託会社ニウヨーク支店に振込んでもらい、東銀リマ支店を通じて引出す。

何れも送金されたドルは自動的にソーレスになるため、ドルでは引出せない。

11. 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

一般には厳しいようであるが、公用パスポートの場合それ

程でない。

別送荷物の引取りで、カヤオ港税関で荷物到着後免税手続きなどに4カ月かかったことがあった。

6カ月以上引取れない場合は競売されるので、荷物到着前に所属先官庁に速やかに免税通関引取りができるよう取計ってもらうよう交渉しておくとい。

② 持込禁止品（国際的禁止品以外の）

特にない。

③ 入国に際しての注意事項

事前に日本大使館に連絡して、空港に出迎えてもらうとい。

④ 持出禁止品

現地の文化財（インカ時代の遺物等）、未加工の貴金属および宝石類、法定規準外のドル貨、無手続き所持のドルは没収される。

(ロ) 外国人登録の有無

A1フォームに外人登録不用のことを明記させ、それに基づいて所属官庁に外人一般登録がいらぬよう公用登録させることが必要である。外人登録の場合、一般長期滞在者扱いとなり、その取得、住所移転、免税、更新のたびに複雑な手続きをおこなわなければならない、非常に面倒である。（出国手続きも複雑になる）

(ハ) ビザの更新手続き等

一般登録の扱いとなると免税手続き、警察証明、毎月の家賃

支払証明，所属先官庁の保証書，納税証明が必要で，取得までに2，3カ月かかることもある。

証明をもらうまでの手続き期間中交通等の面でトラブルが起きることもあり，できたら公用登録にすべきである。

12. 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

○ 住宅手当等

農科大学の場合は住宅費3,000ソールズ/月(税金30ソールズ，手取2,970ソールズ)の補助があるが，月毎に請求手続をする必要がある。

赴任当初約6カ月間支払われなかったことがあり，大使館の斡旋で現在トラブルなく受取っているが，できる限りO T C Aから住宅費の支給を受けようようにしたい。

漁業省の場合住宅費の便宜供与はない。

○ 出張旅費，公用車，ガソリン代

農科大学の場合，出張費は特別な場合に限ってA1フォームに基づいて支給される。

公用車，ガソリン代共に支給されていない。

漁業省は出張費の実費支給と公用車の提供がある。

自家用車を利用した場合も何ら補助はない。

(ロ) カウンターパート，通訳

漁業省ではカウンターパート，通訳，秘書，運転手，使い走りがある。

できたら派遣前に当国政府に通訳，カウンターパート，秘書
をつけるようにA1フォームに明記させるとよい。

(イ) 免税特権

物品その他，自動車税，市民税ともに免税特権はない。

13. 通信，運輸

(イ) 郵便事情

① 安全性，配達システム

重要なものはできるだけ書留にする方が望ましい。配達
は各戸宛であるが手紙，月刊誌（開封）に限る。

小包は税関止めになるのでできるだけ避けること。

公用のものは赴任先官庁または大使館気付にするとよい。

② 電報，電話サービス

個人的な電話の架設は不可能に近い。

電報は大使館経由が望ましい。

ペルーから日本への国際電話は比較的早く接続され，音声
も明瞭である。

料金は最初の3分間15ドルで，日曜は12ドルのサービ
ス料金となっている。

③ 郵便の日本～現地間の所要日数

Air Mail	東京～リマ	3日間
	リマ～東京	4～7日間
Sie Mail		約 2カ月

④ 国内主要都市との連絡

電話は非常に通じにくく、電報は自動車便に手紙を託すより遅い。

(ロ) 運 送

① 陸送・海送業者の有無

陸送・海送業者共にあるが、荷ぬきをされることもあるので日本の郵船、川崎汽船の代理店を利用すると無難である。

② 家財送付上の手続、宛名、注意事項

受入れ所属官庁気付けとし、所属官庁の全責任のもとに免税、通関手続きをさせる必要がある。

14. 言 語

(イ) 公用語、英語その他外国語の普及度

スペイン語が公用語である。

リマの一流ホテルでは英語が通用する。言葉に不自由な期間にはできるだけ日系市民の店舗を利用して買物その他の用を足すとよい。

(ロ) 現地語事前学習、必要性

出発前にレコード等で3カ月間位はみっちり会話練習をしておく必要がある。

なお辞書はできるだけ多く、家族の人数分は持参された方がよい。(英、仏、独語の辞書もあった方が便利である)

(ハ) 語学学習の施設、受講時間等

日系人から個人レッスンを受けられる。

15. 気 候

海岸地帯，森林地帯，山岳地帯に自然分類され，気候は大体夏季（12～5月），と冬季（6～11月）に分かれており，森林地帯は暑く年平均28℃，山岳地帯は乾燥しており寒く13℃くらいである。海岸地帯は比較的温暖で平均22℃くらいである。

海岸地帯は夏は非常に快適である。冬季には雨量は極めて少ないが降霧があるため，高湿となりリューマチに罹り易い。

夜間は夏，冬とも冷え込み，冬季にはストーブを必要とする期間があるが，一般に冬を除くと日本より凌ぎ易い。

16. 治 安

(1) 一般情勢

一応保たれてはいるが，ラテン・アメリカ共通の不安定さはあるように思われる。

こそどろ，すり，詐欺が非常に多い。

(2) 夜間外出上の注意等

禁止令は今のところない。

ボン引もないようである。

住宅街は大丈夫であるが貧民街にはできるだけ夜間は近づかない方が望ましい。

(3) 緊急時における大使館等連絡方法

別に定まったものはないが，大使館，日秘文化会館と連絡をとるのも一法である。

17. その他

(イ) 対日感情、現地人気質

対日感情は比較的良い。

現地人は非常に大陸的な楽天的で、くよくよせず、ほがらかな国民である。

アスタマニアナの気分が多く、時間にルーズで、けじめがなく、責任感に乏しいようである。

(ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法、購読料

新聞・雑誌の海外購読者を対象に専門業とする海外新聞普及係（東京都港区芝浦2-9，電453-8311）があるので依頼して定期的に購読できる。

個人的な書籍、雑誌はリマの日系書店へ申し込んで取寄せてもらうことができるが新聞類は無理である。

海外新聞普及に依頼した場合の料金

○新聞類（朝日，毎日，読売等）

Air Mail （5日） 18,300円／月

Sie Mail （1～2ヵ月） 2,500円／月

○週刊誌類 " 710円／冊

" 160円／冊

○文芸春秋等厚手のもの " 1,290円／冊

" 265円／冊

② 日本語雑誌等の販売店の有無

有る。

大体 3 カ月遅れである。

中央公論	5.5	ドル
現 代	5.5	＃
文 春	5.5	＃

その他日刊の邦字新聞も発行されており、雑誌には日系誌「日光」もある。

(ハ) 風俗，習慣

① 特に禁じられている風習，チップ等

欧米とあまり変らない。

チップについては欧米程は厳しくない。

② 専門家としての体面

日本の専門家として適当な住宅，自動車，使用人が体面を保つため是非共必要となる。

(ニ) 理髪・美容，クリーニング等

理 髪	カ ッ ト	15～40	ソーレス
	シェービング	＃	＃
美 容	セ ッ ト	40	＃
	パーマメント	180	＃
クリーニング	Y シャツ	9～13	＃
	背 広	220	＃

衛生度は普通である。

(ホ) 買 物

赴任直後は言葉の心配もないスーパーマーケットを充分利用するとよい。

一般の店の場合、値引をするのが普通である。

(ハ) 今後赴任される専門家へのぞむこと

- 日本食を欠かせない人は適当量の材料を日本から持参すること。
- 日本出発前に A1 フォームを充分検討し、内容を詳細に確認しておくこと。

少しでも疑いのある点については外務省を通じて確認するくらいの準備が望ましい。

特に専門家の地位、通訳、便宜供与等は是非ともはっきりさせておくべきである。

- O T C A で赴任国在勤の専門家の住所、氏名等を調べておき赴任前に直接連絡をとっておくとよい。
- 勤務地に在留商社、日系人がいる場合は、日本側の縁故を通じて紹介状を持参すると都合がよい。
- 事務用品も必要なものは持参した方がよい。

その他簡単な百科辞典、国語辞典、理科事表、世界地図等も持参されると調法である。

当国の国内地図も実用的なものは市販されていない。

なお当国を紹介した参考書として

インカ帝国 (岩波書店)

世界の旅“南米編”(河出書房)

Ⅱ 同国に対する我国の技術協力実績

昭和46年3月31日現在

形態	区分	農 水 産	建 設	鉱 工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費	
											(千円)	(千米 ドル)
研修員受入		13	16	27	9	12	4	16	13	110	93,377	259
専門家派遣		8	4	5		2			1	20	75,850	211
開 発 調 査	名 称	調 査 内 容				期 間	団 員 数					
	マタラニ港拡張計画調査	既設マタラニ港改良、新港建設、附帯道路鉄道建設、荷役機械化等計画のための調査				36. 7 { 36. 8	5		4,914	14		
	木材利用工業開発計画調査(チリ)	両国の森林資源の開発につき、主に木材利用工業開発の可能性について検討を行なったものである。				38. 10 { 38. 12	5		6,711	19		
	電気通信網開発計画調査	ペルーでは電信は国営、電話は3つの私企業により運営されているが施設が不十分である。そこでマイクロウェーブ幹線を新設して、電話のない都市に電話サービスを開始して施設の拡充を図り、併せて電気通信関係法規を整備してサービスの向上				38. 2 { 39. 4	6		7,489	21		

	名 称	調 査 内 容	期 間	団 員 数	(千円)	(千本)
開		を企図して、調査を行なった。				
	包蔵水力調査	アマゾン河支流マラニヨン河、アフリマク河及びチチカカ湖流域を対象として包蔵水力に関する基礎調査	39.11 } 40.1	7	10,211	28
	発	ブノ県電化計画調査	日本の経済協力により開発されたタクナ県アリコータ発電所よりの送電を主体としたブノ県チチカカ湖周辺、市町村の電灯小規模工業及び灌漑揚水のための電化計画調査	42.2 } 43.3	4	8,512
計			震災復興計画調査	チンボテ、ウアラス地方に発生した地震被災地における地殻変動、土質、土木構造物等についての調査	45.7 } 45.9	5
	リマ—チンボテ間送電線建設計画調査	1970年5月の地震災害に対する復興計画の一環としてリマ地方とチンボテ地方とを結ぶ送電線建設計画のための調査		46.1 } 46.2	5	6,865
機 材 供 与	機 材 名	供 与 先 機 関	年 度	数 量		
	ガストロファイバースコープ	リマ市カエタノヘレデカ医科大学	45		4,794	13

Ⅲ 大使館等連絡先

大 使 館

住 所 Embajada del Japon,
 Av. San Felipe 356,
 Jesus Maria,
 Lima, PERU

電 話 6 1 - 4 0 4 1

